

豊中の未来を描こう！！

発行2017年11月

VOL. 133

市議会議員が
月9の題材に
なっていますが…

豊中市議会議員
無所属

かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

◆ 2016年度決算審査！！～総務常任委員会にて～ ◆

1230台設置予定の防犯カメラはどうなった！？ 窓口の待ち時間解消に事前予約システムの導入を！！

Q.昨年度、見守りカメラ(防犯カメラ)の設置台数が当初の予定(小学校20校に計600台)に比べて、計171台と大幅に少ない数だったが、その要因は？

A.防犯カメラの設置は、設置場所の検討、機器の仕様の検討、設置可能な電柱等の調査、共架申請の手続き、道路等の使用許可の手続き、電力会社の給電の手続きなど多くの段階を踏む必要があり、想定出来ない点があった。
現在620台を発注し、設置作業を進めており、残り439台も11月には発注し、年度内に設置を完了する予定。

★ 要 望 ★

計画通り、今年度中に予定していた約1230台全ての見守りカメラの設置を完了させて欲しい。

Q.転居等に伴う手続きで、窓口に来られた方の待ち時間はどれくらいになっているのか？

A.昨年度1年間の平均待ち時間は約20分。年度末・年度当初が最も混雑する時期で、最大待ち時間は約3時間。

Q.待ち時間を抑制するために取り組んできたことは？

A.年度末・年度当初に臨時窓口を開設し、平成21年から証明書自動交付機の運用及びコンビニ交付サービスを開始している。また、ウェブ配信で現在呼出中の番号を表示し、スマートフォン等でリアルタイムに混雑状況を確認できるようにするとともにフロアでは、待ち時間の目安も表示している。

Q.事前予約システムを導入してはどうか？

A.事前予約サービスの効果等について、調査・研究する。

★ 要 望 ★

窓口で待つ前提での取組みと同時に、窓口で待たなくてもスムーズに手続きが開始できるような取組みとして、事前予約サービスの導入を早急に実現して欲しい。

極端な長時間労働は早期撲滅を！！

Q.昨年度、全職員が行った時間外勤務の総時間数とそれに伴う時間外手当の総額は？

A.時間外勤務の総時間数は、約52万時間。
時間外勤務手当の総額は、約17億300万円。

Q.昨年度、時間外勤務時間数が多かった職員の詳細は？

A.上位5人の所属は、健康福祉部2人、資産活用部3人。うち、時間外勤務800時間(約66時間/月)超が1人、700時間超が1人、600時間超が2人、500時間超が1人。

Q.特定の職員の時間外勤務が際立っている要因は？

A.基本的には、個人の課題ではなく、組織を取り巻く状況の変化が大きな要因。業務体制の整備や、特定の職員に業務が偏らないように配慮した業務運営が求められるが、法改正等に伴う新たな業務への対応等、年度当初には想定できなかった事態が発生した場合に、やむを得ず、特定の職員に負担が集中してしまうことが要因と考える。

★ 意 見 ★

時間外勤務を完全に無くすことは困難かもしれないが、最低でも市が目安としている年330時間以上の時間外労働は早急に撲滅すべく、職員一人ひとりの意識改革と管理職職員の管理能力の向上を図るべき!!

約1万6千人もの避難行動要支援者が助かるには！？

Q.昨年度、約1万6千人が記載された避難行動要支援者名簿を作成されたが、支援体制は構築されているのか？

A.支援体制は異なるが、既に、民生児童委員、校区福祉委員会、地域自治組織、公民分館、自主防災組織などが支援団体となることを決めている校区もあり、引き続き地域における支援体制の構築に取り組む。しかし、必ずしも、支援の実施を保障するものではなく、避難行動要支援者にも、いざという時のため、ご自身でも備えて頂くようお願いしている。

★ 要 望 ★

民生児童委員や校区福祉委員会は、これまで以上の負担感を抱き、自治会等の地域団体にとっても重荷になっている。これらの負担感やプレッシャーが各種団体の関係性を悪くしたり、各種団体への参加を敬遠されるといった課題を引き起こすことが想定される。避難行動要支援者に対しては、必ずしも支援の実施を保障するものではないということを、広く周知して欲しい。

中途半端なシティプロモーションは税金の無駄！！

利用率の乏しい人権まちづくりセンターは施設再編を！！

Q. これまで行ってきたシティプロモーション(まちのPR)の費用対効果をどのように評価しているのか？

A. シティプロモーションにかけた経費は、過去2年で、**約1800万円**。例えば、音楽月間のシティプロモーションの場合、とよなかまちなかクラシックの応募件数が年々増加しており、一定の効果があつた。また、人口の社会増加数も平成27年に1886人、平成28年に969人と、豊中で暮らすことに対して関心が高まっていると認識している。

Q. 本格的にシティプロモーションに取り組むのであれば、ノウハウを持った民間人の登用や、職員を広告代理店等への派遣を考えるべきではないか？

A. これまでも委託などの手法を使い、民間のノウハウを活用しながらシティプロモーションを進めてきたため、民間人の登用や広告代理店などへの職員派遣の検討はしたことがない。

意見

シティプロモーションの効果は限定的で、インパクトに欠ける。シティプロモーションに税金をかけるのであれば、中途半端にならないよう、ノウハウに長けた民間人の登用や職員の民間企業への派遣を積極的に行うべき！！

市内のひきこもりの実態が見えてきた！！

Q. 昨年度、若者の生活実態調査を行い、ひきこもりの実態が見えてきたようだが、その詳細は？

A. ひきこもり群とひきこもり親和群の推計値は、39歳以下の調査では、それぞれ2530人、5816人で**計8346人**、40歳から45歳の調査では、それぞれ3045人、1917人で**計4962人**。人間関係で多くの困難を抱えているが、半数以上の方が相談機関への相談を希望されていること、就労に向けた希望をもっていることが分かった。

要望

ひきこもり対策や支援の一番のカギは「連携」すること、小中学校、高校、それらを所管する府や市の教育委員会、関係機関、関係部局がより広く、より深く連携を図り、相談の入り口(窓口)は幅広くしつつ、支援の出口は同じになるような強固かつ柔軟な体制作りの構築を目指して欲しい。

Q. 人権まちづくりセンターの維持管理経費と利用状況は？

A. 豊中人権まちづくりセンターが**約3800万円**、蛍池人権まちづくりセンターが**約1300万円**。平成26年度からの3年間の豊中人権まちづくりセンターの平均稼働率は、23%、28%、36%、蛍池人権まちづくりセンターの平均稼働率は、21%、30%、33%。

意見

両施設は今後ますます老朽化が進み、維持管理費の増大が予想されるとともに、両センターの稼働率の低調ぶりを考えると、機能の集約化、多機能化等について、早急に結論を出すべき！！

設置理由が乏しい共同利用施設は早急に統廃合を！！

Q. 市内には航空機騒音対策を目的とした施設(共同利用施設)が34か所もある。昨年度の維持管理経費は？

A. 補修工事請負費、光熱水費、施設総合管理委託料など合計**約1億3000万円**。

Q. 全34施設のうち11施設は、現在では航空機騒音対策区域外にあり、設置理由がなくなったのではないかと？

A. 航空機騒音対策区域の縮小等に伴い、施設のあり方や今後の運用などが検討課題であり、施設の利用状況や更新費用の試算、類似施設の配置状況等、課題解決に向けた基礎調査を行ってきた。

Q. ほとんどの施設は利用率が低調で、近隣に地区会館や自治会館などの集会所があることから、早急に統廃合を進めるべきではないか？いつ頃をめどに実施するのか？

A. 地区会館等の集会所・コミュニティ施設の配置・利用状況も勘案し統廃合を検討する方針は決定したが、施設再編の時期については、今後「個別実行計画」の中で明らかにする。

意見

毎年、多額の維持管理費がかかっており、一刻も早く施設再編に向けた統廃合を実施すべき！！

他にもこんな質問や提案をしました・・・

- ・ 広報力の向上について・・・積極的な外部人材の登用や職員の民間企業への派遣を！！
- ・ 契約時の最低制限価格について・・・事後公表にするなら、容易に算出できない工夫を！！
- ・ 豊島体育館の空調設置工事について・・・12月から休館することの周知を！！



発行元 前向きひろば ~Positive Square~

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階
TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の 10時から 17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

